

2022年自己評価 結果報告

1、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育理念・教育方針の理解	園の教育理念や教育方針を十分理解し、幼児の姿を具体的にイメージしながら保育にあたっている
幼稚園教育要領の理解	幼稚園教育要領は保育者全員が学び合い理解を深めているが、やや不十分な職員もいた。
保育計画	指導計画は、教育要領、教育課程、幼児一人ひとりの生活の様子、予想されるこれからの生活の実態などをもとに考えて作成している。また自分の保育、計画の評価、実践、振り返りを行い、次の保育と計画に生かせるよう話し合いを行っている。
環境の構成	指導計画に基づいて幼児が自ら活動を生み出し、主体的にかかわれるような環境構成をしている。また幼児の発達や生活を見通し、教師の願いや意図をもって環境構成をしている
保育の在り方、幼児への対応	教師としての資質や良識はおおむね達成できている。 ・少人数クラスの特性を生かし、一人ひとりの幼児を観察し、家庭との理解を踏まえて関わりができています。 ・それをベースに幼児同士の関わりの中でその姿をとらえ、心の動きを理解するように努めている。 ・日常のミーティング等を通じて保育同志がクラスに関係なく協力し合い、意見を交換している。
教師としての良識、義務等	教師としての資質や良識は概ね達成できている。一例は次の通り。 ・保育時間外でも保育者としての自覚を持った言動を心がけている。 ・幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込まないようにする。 ・幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしている。 ・朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めている。 ・何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉などで表している。 ・園の消耗品や教材は節約して使っている。 ・服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている。 ・保育をする上での安全性にも気をつけている。 ・サービス上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。 ・教職員全員でひとつのチームであることを意識している。 ・他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる。
保護者の対応	保護者及び子どもの個人情報口外したり、国籍・思想・障害によって区別、差別をしない。
研究・研修	日常の保育の中で幼児一人ひとりの課題は何なのか、それに対してどのような教育を行わなければならないかについて研究、研修を重ね取り組んでいる。しかしまだ不十分な部分がある。具体的に行われている取り組みは次の通りである。 ・保育計画の中に生かしているプロジェクト保育 ・アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題 ・障害のある幼児に対応する保育のあり方 ・預り保育や子育て支援などのあり方・考え方 ・幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究 ・チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究 ・危機管理について、現状やあり方について研修・研究 ・保護者への対応のあり方について研修・研究

2、今後の課題

上記取組の中で不十分と評価された項目については、次年度の課題として取り組んでいく。

- ・預り保育のあり方・考え方
- ・危機管理について、現状やあり方について
- ・保護者への対応のあり方について研修・研究
- ・チーム保育について、その意義やあり方について
- ・プロジェクト保育の研究
- ・障害のある幼児の対応